

町づくりを推進

昭和44年度予算 13億円のゆくえ



発行所
向日町役場
京都府乙訓郡向日町
大字向日小字南山3
電話京都(921)3111
編集・向日町役場総務課

積極的に事業を 建設事業に四億円

建設事業に四億円

昭和四十四年度予算は、一般会計七億九千三百五十六千円のほか特別会計、公営企業会計を合わせて十三億六千八百四十四千円で、昨年度当初に比べると約二倍(九・六パーセント増)になり、はじめ十億円を要した超大型予算を編成しました。

この予算が超大型になった原因は、過密対策の施策として、①第三小学校用地の先行取得費、②継続事業の庁舎建設、③水道の施設更新事業などの一時的な事業費五億五千二百二十五万円を念入りに計入しています。

一般会計は、昨年度当初に比べ三億七千八百七十四千円、九一・四パーセントの増加になっています。予算のうち、建設事業にあてる投資的経費は四億二千八百六十五千円で五二・八パーセントを占めています。

中山町長が町政を担当して三年

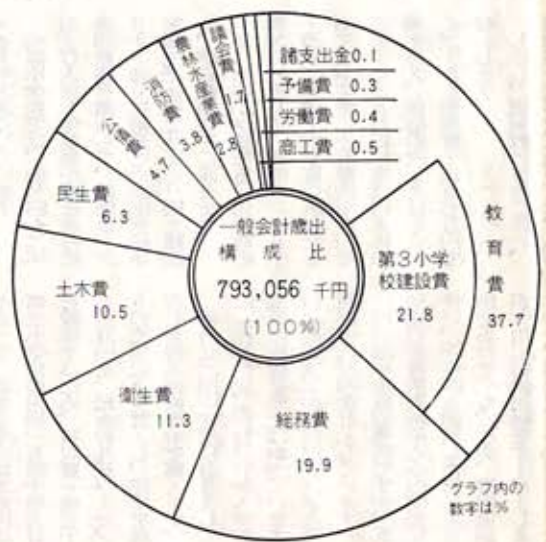
都市化対策

町道の整備に重点 排水路改修を急ぐ

激しい都市化による生活の暮らしから、明るく安全な生活を確保するため、日常生活に密着した施策を推進します。

町道の整備は、とくに力を注ぎ、道路舗装五カ年計画の四年目の工事費九百五十五万円を計上して舗装九百戸を進めるほか、新庁舎建設に伴う寺戸地区の町道拡幅工事費二千五百一十万円、道路の維持補修費百九十九万円を投じ、日常生活に利用する道路を中心に整備を進めます。

中山町長が町政を担当して三年



中山町長が町政を担当して三年

馬立、寺戸小字殿長(西山学園北)の排水路、寺戸地区の小畑川森本・鶴見井内川の明福川の改修に八百三十三万円を投入して、環境の向上を期します。

環境衛生の予算は、百三十九万円、衛生車両除毛処理地区をさらに一カ所設けるなど、清潔な町づくりを推進しますと、急務に増加している野火の補修を強力に促進します。

清掃事業では、計画的な収集と衛生処理を進めますが、ごみについて、清掃工場地区を建設し、収集の徹底にも邁進の収集をこまめな現場施設の機能に対応して試験的に行ない、近い将来に全町で実施する計画を立てています。

一般会計	7億9,305万6千円
国民健康保険	8,695万5千円
水道事業	4億2,267万3千円
計	13億268万4千円

(二)三ページへ続く

まず、一般家庭の増加するガスを処理するため、収集区域の七地区を八地区に分け、月一回の収集によるサービスの向上に努力します。

乙訓郡環境衛生組合のごみ、し尿の最終処理施設は、郡内人口の増加に伴って現有施設では処理の限界に達しているため、処理能力の拡充をはかるため、ごみでは、八十トン処理能力施設の増設工事費一億二千八百万円、し尿では六十キロリットル処理能力施設の増設工事費一億六百万円をもって、昭和四十四年度より二カ年継続事業として実施していますが、この完成予定は、し尿処理施設は九月末、ごみ処理施設は十月末です。

したがって、本年度の組合負担金としては、四千三十八万円となりますが、今回の予算措置で財源の都合上千万円であり、残額は補正により措置したと考えています。これらの業務を行なう清掃費は、全体の九・二パーセントを占める七百六十七万円です。